

平成 29 年度 定例県議会 知事提案事項説明要旨 [ 抜粋 ]

平成 29 年 6 月定例県議会

次に、九州新幹線西九州ルート整備について申し上げます。

平成 3 4 年度の武雄温泉駅での対面乗換方式による暫定開業に向け、武雄温泉から長崎間の新線区間につきましては、用地取得及び土木工事が順調に進んでおり、今後、駅舎・軌道など開業に必要となる施設の工事も順次進められることとなっています。

また、肥前山口から武雄温泉間の複線化区間につきましては、地区住民の方々のご理解、ご協力を得ながら準備が進められており、鉄道・運輸機構及び J R 九州と連携しながら、事業の進捗を図っていくこととしています。

暫定開業後は、新幹線及び在来線の全ての列車が武雄温泉駅に停車するとともに、嬉野温泉駅(仮称)が新設されることから、開業効果をできるだけ高められるよう、地域の皆様とともに、しっかりと取り組んでまいります。

フリーゲージトレインにつきましては、国において、技術開発が進められているところですが、次回の軌間可変技術評価委員会において、耐久走行試験の再開が判断されることとなっており、その開発状況について、国からの情報収集に努め、注意深く見守ってまいります。

平成 29 年 9 月定例県議会

次に、九州新幹線西九州ルート整備について申し上げます。

去る 7 月 1 4 日にフリーゲージトレインの技術開発状況について評価を行う

軌間可変技術評価委員会が開催され、車軸の摩耗対策、高速走行安定性及び経済性の検討について評価がなされたところです。この評価結果については、同日に開催された与党整備新幹線建設促進プロジェクトチーム九州新幹線西九州ルート検討委員会に報告され、今後の整備方針について議論されることとなりました。

7月28日に開催された検討委員会では、本県からの意見を求められたことから、

- ・6者合意で決定した平成34年度のリレー方式での開業及び武雄温泉～肥前山口間の全線複線化を確実に実現していただきたいこと
- ・西九州ルート整備に対しては、関西・中国方面からの流入効果を期待し、費用を負担していることから、「人の流れ」が実現できるような議論を行っていただきたいこと
- ・フル規格で整備する場合、本県の実質負担は約800億円を超えることとなり、多額の負担を将来世代に残すことは到底できないこと

などを、私から訴えたところです。

今後、与党検討委員会において、西九州ルートの整備方針について議論が進められるものと認識しており、国などからの情報収集に努め、その議論を注視してまいります。

平成29年11月定例県議会

次に、九州新幹線西九州ルート整備について申し上げます。

去る9月27日に九州新幹線西九州ルートの整備の在り方について議論される与党検討委員会が開催され、検討方針が決定されました。

今後、与党検討委員会では、今年度末を目処に報告される国土交通省からの調査結果を踏まえ、関係者へのヒアリングを実施した上で議論し、できる限り速やかに一定の結論を得ることとなっています。

本県といたしましては、国などからの情報収集に努め、検討委員会における議論を注視するとともに、本県に意見が求められる場合には、改めて県の考えを訴えてまいります。

#### 平成 30 年 2 月定例県議会

次に、九州新幹線西九州ルート整備について申し上げます。

昨年 9 月に開催された九州新幹線西九州ルート整備の在り方について議論される与党検討委員会においては、3 月末を目途に報告される国土交通省からの調査結果を踏まえ、関係者へのヒアリングを実施し、できる限り速やかに一定の結論を得ることとされています。

引き続き、国などからの情報収集に努め、検討委員会での議論を注視するとともに、本県に意見を求められる場合には、改めて県の考えを主張してまいります。